



平成 19 年 5 月 30 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
松井証券株式会社
代表取締役社長 松井 道夫
(東京証券取引所第一部: 8628)
問合せ先: 取締役 IR 室長 和里田 聡
TEL: 03 (5216) 8650

行動ファイナンスに関わる研究への協力について

松井証券は、本日、ファイナンスにおける新しい研究分野として注目を浴びつつある行動ファイナンスについて、一橋大学大学院の研究グループと、共同研究を行うことについて合意いたしました。

記

今回の研究は、松井証券が保有する個人投資家の株式売買データを一橋大学大学院の研究グループに提供し^{*1}、日本における行動ファイナンスの本格的な基礎研究に役立てると同時に、そこから見出された研究成果をビジネスに転用することを目的とするものです。

今回の共同研究では、これまでの研究では利用されていない、投資家の特性を含むより多様なデータを対象に分析を行うことで、投資家の行動原理を明らかにしたいと考えております。これにより、日本の行動ファイナンス研究が更なる進展をみせ、また、松井証券においては、より詳細なマーケティング戦略の策定に活かすことができるものと考えます。

以上

【参考】行動ファイナンスとは

行動ファイナンスとは、ファイナンスの基本原則ともいべき効率的市場仮説^{*2}に疑問を呈するアプローチで、人間の心理バイアスに起因する投資家の非合理的な行動を基礎とした理論的枠組みを用いることにより、資産価格のアノマリー現象^{*3}の説明に一定の成功を収めています。2002 年、心理学者であるダニエル・カーネマン博士がノーベル経済学賞を受賞し、一躍脚光を浴びる分野となりました。

行動ファイナンスの既存の研究は、日本における投資家行動および株式市場の構造・特性などについての実証研究は進んでおらず、唯一、一橋大学大学院の研究グループが、オンライン取引を行う個人投資家の売買データを利用して、その行動を分析しています。

^{*1}個人情報保護の観点から、個人が完全に特定される形式でのデータ提供はいたしません。

^{*2}「金融資産の価格は利用できるすべての情報を合理的に織り込んで、効率的に決定されている（価格に影響を与えるニュースや材料は全て価格に織り込まれており、また新しいニュースや材料も瞬時に価格に織り込まれるため価格は常に適正になっている）」とする考え方。

^{*3}市場の変化について合理的な説明ができない現象。